

栃木県教育委員会定例会会議録

平成27年5月8日(金)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席委員は次のとおりである。

1番(委員長)	岡	直 樹
2番	吉澤 慎	太郎
3番	伏木 由	佳子
4番	工藤	敬子
5番	陣内	雄次
6番(教育長)	古澤	利通

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教育次長	金田	繁 夫
教育次長	金井	正
総合教育センター所長	長野	誠
総務課長	石崎	金 市
施設課長	江連	隆
教職員課長	軽部	幸治
学校教育課長	宇梶	宏美
特別支援教育室長	中田	誠
生涯学習課長	猪瀬	清隆
スポーツ振興課長	塩澤	好和
文化財課長	荷見	晃
健康福利課長	伊藤	満
国体準備室長	今泉	信男
総務主幹	入野	祐子
人権教育室長	鈴木	恵治
児童生徒指導推進室長	赤羽	浩
学力向上推進室長	野中	和明
世界遺産登録推進室長	羽瀬	修

3 午前10時45分、委員は全員出席しており、委員会は成立したので、定例会を開催する旨を告げた。

4 委員長は、本日の会議録署名委員に2番吉澤委員を指名した。

5 委員長は、報告を受ける旨を告げた。

6 報 告

(1) 第11期栃木県生涯学習審議会答申について

委員長から説明を求められ、生涯学習課長が説明した。

この報告に関して、委員から次のような質問や意見等があった。

〔委員〕

- ・ この答申はどのような形で県民に周知していくのか。

〔事務局〕

- ・ 県ホームページへ掲載することを考えている。
- ・ また、今後策定する「栃木県生涯学習推進計画第五期計画」にできる限り反映させることで県民へ還元していきたいと考えている。

〔委員〕

- ・ 生涯学習というと、子どもの頃とシルバーカレッジというような目線が割と大きいような気がしている。
- ・ しかし、時代がどんどん変わる中で、イギリスのアダルトカレッジのように、現に仕事をしている方がさらにスキルアップしたり、女性がしっかりとキャリアプランを作っていくことへも学習機会が必要となっているが、そこへの着目が非常に薄いような気がする。幼少期と老齢期の間の真ん中の世代への施策の充実を図っていただきたい。

〔事務局〕

- ・ 御指摘のとおり、現実として薄い部分がある。
- ・ 答申においても、女性の活躍などについて触れられているので、我々としても力を入れていかななくてはならないと考えている。

〔委員〕

- ・ 生活困窮者自立支援法が4月1日施行されたが、地域に出ていると、ひしひしと格差が広がっているように感じる。
- ・ 根本のところだが、生涯学習といったときに、誰もが平等に学習機会が与えられることが重要だと思うが、格差が広がる中で、学習機会があったとしても、それさえ知らない人がたくさんいると思う。そういった視点が答申に入ってくればよかったと感じたところである。
- ・ 「まちづくり」の視点をもった活動の推進ということについても、生活困窮者は切り離されているところであり、今後、どういう風と一緒にやっていくかという視点も入れていったほうがよいと思うので、新たな計画を作る際に検討してもらえれば有り難い。

〔事務局〕

- ・ 五期計画を作る際に検討を進めていきたい。

(2) 中・高校生全国大会優勝者・指導者知事表彰について
委員長は、事務局からの説明は割愛する旨を告げた。
この報告に関して、委員から質問や意見はなかった。

(3) 「学校における新型インフルエンザ等対応マニュアル」の作成について
委員長から説明を求められ、健康福利課長が説明した。
この報告に関して、委員から次のような質問や意見等があった。

〔委員〕

- ・ 実際に新型インフルエンザ等が発生して、生徒を帰した場合、保護者がパニックになることも考えられるが、各学校でどう対応するかについてマニュアル等は作っているのか。

〔事務局〕

- ・ 実際に発生したときは管轄の保健所と相談しながら対応をしていくことになると思うが、不安を起ささないための連絡等については、これに限らず、学校の運営全般の危機管理の中で決まっていることかと思う。

〔委員〕

- ・ 被害の想定等のところに、空気感染も念頭に対策を講じるとあるが、新型インフルエンザで空気感染することもあり得るのか。

〔事務局〕

- ・ 新型インフルエンザでの空気感染は想定しにくいですが、未知の新感染症についてもこのマニュアルには含めている。

〔委員〕

- ・ 感染力などの情報が正確に分かるものについては、それを確実に保護者に伝えていけばよいが、新感染症などで、正確な情報が分からないものについては、相当なパニックが起きるかも知れないので、どう対応するかの想定も考えていってほしい。

〔委員〕

- ・ 被害ということでは、以前の新型インフルエンザ発生時に、県内では私の子どもが通っていた学校で初めて発生したのだが、その時、バスの乗車拒否などの風評被害もあった。
- ・ このように2次的な被害の発生も考えられるので、学校毎に対策を考えておく必要があるのではないかと思う。

7 委員長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前11時15分、閉会した。